

THE 検疫

松江市立八雲中学校1年
石倉 要
平成 29年9月10日

国際的な人や物の行き来の安全を守る



秋山さんの説明を聞いている僕

秋山さんは技官。看護師の資格を生かして仕事をしている。境出張所は所長さんを含めて4人で協力して仕事をしている。休みは交代制だが、急に仕事が入ることもあるそうだ。忙しい時には、広島検疫所の本所から応援もある。サーカスのくまが境港に入港した時も、応援を要請したそうだ。秋山さんは北海道出身で、日本各地の検疫所を転動しながら日本に住む人の健康を守っている。

を瀬戸際で守っている。

僕は、小学四年生の時に沖縄に行った。その時、空港に持ち込んだり、この約束を守って旅行することで、沖縄や本土の自然が守られるという理由が示されていた。このことがきっかけになり、人や物の流通の安全について調べるようになった。インターネットで調べてみると、国際的な人や物の行き来のある港や空港には「**検疫所**」が設置されており、僕の住む島根県や近くの鳥取県境港市にも検疫所があることがわかった。そこで、近くの境出張所の方に見学やインタビューをお願いし、八月八日に実現した。

「**二つの法律に基づいて業務が行われている！**」

検疫所は、国の機関で、厚生労働省の所轄。感染症のまん延を防止する**検疫法**と輸入食品の監視や指導や検査を行う**食品衛生法**に基づいて業務が行われている。二つの法律によって日本に住む人の健康

日本全国の流通の拠点に設置される検疫所

検疫所の設置状況

(平成29年4月1日現在)

凡例	短冊	空箱	計
本所	11	2	13
支所	7	7	14
出張所	62	21	83
合計	80	30	110



日本の検疫所の設置状況(島根県境出張所でのいただいた資料より)

入国後最初に行われるのは検疫だ。英語とジェスチャー、四種類の言語(英語、韓国語、中国語、台湾の中国語)が書かれたボードで入国者を誘導する。船の検疫の場合は、乗客が千人を超える場合もある。急いでいるお客さんが多いそうだ。手でゆっくり進むようジェスチャーをしたり、ボードをわかりやすく表示したりして、乗客一人一人の体温を(カメラとモニターによる)サーモグラフィーでチェックができるようにする。



サーモグラフィーで体温をチェックしてもらった僕

「**入国一番に検疫**」

「**業務は大きく分けて四つ**」

検疫業務

- 日本に入国するすべての人の検疫と健康相談。
- 検疫感染症の疑いがある場合は、防疫措置を行う。
- **湾港衛生業務**
- 蚊族やねずみ族の調査
- 船舶衛生検査
- **動物の輸入の届出業務**
- 届出の審査および現場確認
- 動物輸入相談、広報活動
- **輸入食品監視業務**
- 届出の審査(食品・食品添加物・おもちゃ・飲食器具・包装容器)
- 輸入食品相談
- **試験検査業務**
- 輸入食品等の化学検査及び微生物学検査
- 感染症の病原体検査

調査は、蚊やねずみの生態をよく知ることが大切！

調査器具について説明してくださる集壇さん。発泡スチロールに穴をあけ、酸化したドライアイスによってわなの周辺に二酸化炭素濃度が上がるしくみを作ると教えてくださった。



港湾内にわなを仕かけ、ねずみやねずみに寄生しているノミについても調査する。万が一ねずみが病気を媒介していても、セーフティーキャビネット内の吸引装置を活用し、でノミや病原体が外界に出ないようにしながら解剖する。調査者の身を守ることも防疫の第一歩なのだ。



蚊を集めて調査する装置

蚊を集めて調査する装置
そのうち、蚊によって感染するものは、マラリア、デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症の四つだ。これらに感染した血液を吸った蚊が港に入ってきていなか調査する。

海外で流行する検疫感染症などが国内に侵入を防ぐためにねずみや蚊の調査が行われている。
蚊の調査は、ドライアイス(二酸化炭素)を使って蚊を集めて調査する。蚊が二酸化炭素の多いところに集まる性質を利用している。ドライアイスの近くに蚊が来ると、網の方に吸引される仕組みになっている。

Q1 海外から港を経由して入ってきたヒアリが発見された。ヒアリは、検疫所で調査や駆除がされる？
A1 検疫所(厚生労働省)の管轄ではなく、環境省の管轄

検疫によってチェックされる感染症は、**日本国内に常在しない感染症で、致死率が高く重篤な症状が出る十四疾患。**

コラム

「日本の検疫官で最も有名な人物は、誰でもよ……普段の生活でその姿をよく見かけます。検疫で、ベストを見つけました。」と秋山さんが紹介してくださった人物は……なんと、**野口英世**。野口英世は22歳の時、横浜の検疫所で5か月間勤務した。

ベストを見つけた優秀な検疫官とは？

編集後記

検疫は、日本の海(空もふくむ)の入り口で日本を守っている。これから日本は、海外からの観光客を増やそうとしている。そんな中、日本には検疫官が不足している。政府も検疫官を増やしていく考えを持っているようだ。人の動きが増える2020年のオリンピックではしっかりとした対策を取る必要がある。日本の売りは水際対策だ。僕たちの暮らしは検疫に支えられているが、普段の生活の中では身近に体験することはない。検疫という大切な仕事について取材することができ、よかったと思う。

検疫 Q&A

Q2 蚊によって感染するもの以外に、どんな病気が検疫でチェックされる？

A2 【致死率が高く、主に人の体液、血液で感染するもの】
エボラ出血熱、マールブルグ病、クリミア・コンゴ出血熱、ラッサ熱、南米出血熱、ベスト、痘瘡(天然痘)

【主に飛沫感染するもの】

新型インフルエンザ等感染症、鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9)、MERS(中東呼吸器症候群)

Q3 海外に行く時に気をつけることを調べるには？

A3 ホームページ「FORTH」に渡航先ごとの注意や必要な予防接種についての情報が掲載されている。刻々と変わる海外の情報を収集して対策を立てる必要がある。
※「FORTH」とは、「For Travelers' Health」の略。

※ 参考資料 厚生労働省 広島検疫所 パンフレット